

2026年度標語「大丈夫！」自分のルールは 事故の元

1 月 度 標 語 ちゃんと変 その気づきこそ救いの手 仲間とケアする メンタルヘルス

CHECK

「2025労働環境総点検チェックリスト」の結果に見る  
U Aゼンセン加盟組合の安全衛生活動の状況

前年6月の労働環境総点検運動月間に実施した「労働環境総点検チェックリスト」には、756組合から回答を頂きました(製造産業部門305組合、流通部門226組合、総合サービス部門225組合)。

加盟組合における安全衛生管理体制と安全衛生活動の状況は下記の結果となりました。

労働環境総点検チェックリストによる職場点検 ～ヨコ組合における回答率が低位の課題～

タテ組(以下、部門所属組合)の回答率は、全体で約8割となっている。一方、ヨコ組合(以下、県支部所属組合・中小地場組合)における回答率は各部門とも2割前後になっており、U Aゼンセン加盟組合における安全衛生活動の実態を表していると言えない状況にあります。

回答組合数 部門・部会別		タテ			ヨコ			計		
		単組	回答	率	単組	回答	率	単組	回答	率
製造産業部門	繊維素材	21	21	100%	40	13	33%	61	34	56%
	繊維加工	0	0	0%	243	59	24%	243	59	24%
	衣料・スポーツ	15	15	100%	41	5	12%	56	20	36%
	化学	46	46	100%	136	39	29%	182	85	47%
	医薬・化粧品	40	39	98%	35	7	20%	75	46	61%
	総合製造	8	8	100%	263	53	20%	271	61	23%
	部門計	130	129	99%	758	176	23%	888	305	34%
流通部門	スーパーマーケット	55	48	87%	145	44	30%	200	92	46%
	GMS	17	14	82%	5	2	40%	22	16	73%
	住生活関連	18	13	72%	20	6	30%	38	19	50%
	百貨店	25	10	40%	33	8	24%	58	18	31%
	ドラッグ関連	15	10	67%	36	14	39%	51	24	47%
	専門店	49	37	76%	37	4	11%	86	41	48%
	家電関連	14	11	79%	40	5	13%	54	16	30%
	部門計	193	143	74%	316	83	26%	509	226	44%
総合サービス部門	フード	11	8	73%	120	41	34%	131	49	37%
	フードサービス	31	19	61%	75	21	28%	106	40	38%
	インフラサービス	18	10	56%	193	28	15%	211	38	18%
	生活サービス	24	11	46%	99	7	7%	123	18	15%
	ホテル・レジャー	7	4	57%	66	12	18%	73	16	22%
	パチンコ関連	2	2	100%	10	3	30%	12	5	42%
	医療・介護・福祉	47	39	83%	53	8	15%	100	47	47%
	人材サービス	15	12	80%	2	0	0%	17	12	71%
	部門計	155	105	68%	618	120	19%	773	225	29%
U Aゼンセン 計		478	377	79%	1,692	379	22%	2,170	756	35%

上表の結果を踏まえ、県支部所属組合・中小地場組合の回答率を向上させる取り組みが必要であり、今後は以下の観点を勘案しつつ検討をおこない、更なる実効性を高めます。

調査の目的・活用事例の共有

①労働環境総点検の結果が「どのような政策提起・制度改善・加盟組合支援につながったか」の成功事例を、具体的な内容で共有を図る。

②「回答するとこういうメリットがある」というメッセージを伝えるとともに、安全衛生の研修会等を通じて説明する。

③県支部所属組合・中小地場組合に対し、前年の回答状況レポートをフィードバックし、改善アクションを依頼する。

インセンティブ化・見える化

①回答率上位の県支部所属組合・中小地場組合を取り上げ、「協力への感謝」とあわせて好事例を共有する。

②回答済み・未回答のステータス一覧を、都道府県支部担当者が確認できるダッシュボード(簡易な一覧表)としてデータ化して提供する。

期日設定・リマインド運用の強化

①集約期間を8月末から9月末までの設定とする。

②期日1週間前や前日に、未入力組合に対し、個別リマインドメールを送付する仕組みを整える。

事業場および労働組合の安全衛生管理体制 ～労働組合の安全衛生推進体制の整備が課題～

事業場の安全管理体制は人数規模の少ない事業場ほど整備されていません。また、労働組合の推進体制の整備は経年で見ると前進しているものの、事業場の体制と比較はまだ取り組みが不十分です。労使で効果的な活動を進めていくためには、労働組合側も体制を整備しておく必要があります。まずは、労働組合の運動方針に安全衛生活動に対する取り組み姿勢等を明記し、年間の活動計画を作成してみることから始めてみましょう。

規模／部門	事業場の安全管理体制			労働組合の安全衛生推進体制		
	事業所トップ 意思表明	年間計画の 作成	委員会組織の 設置	運動方針への 記載	年間計画の 作成	担当者の 選任
U Aゼンセン全体	93.6%	87.4%	91.2%	67.5%	54.0%	68.0%
50人以上	94.9%	91.6%	96.9%	71.5%	58.2%	72.5%
50人未満	84.4%	58.1%	48.9%	38.8%	23.5%	34.1%
製造産業部門	97.7%	93.1%	95.3%	73.5%	60.0%	71.9%
流通部門	91.6%	85.2%	91.0%	64.3%	51.9%	68.0%
総合サービス部門	90.0%	81.7%	85.5%	62.0%	47.1%	61.7%

労働安全活動 ～職場巡視、リスクアセスメント、交通安全の実施率が低い～

人数規模の少ない事業所ほど活動の実施率が低く、特に、職場巡視活動と交通安全への取り組みが顕著です。結果として、職場巡視を踏まえたリスクアセスメントの実施率についても、部門間で取り組みに差があります。国内では規模の小さい事業場ほど多くの労働災害が発生しており、U Aゼンセンにおいては短時間組合員の労働災害が増加傾向にあることから、業種特性や作業実態を踏まえた安全最優先の職場づくりを進めましょう。

規模／部門	雇入れ時安全衛生教育			4S、KY、 ヒヤリ・ハット	職場巡視	リスク アセスメント	作業標準書の 作成	職場環境の 改善	交通安全
	正社員	パート タイム	派遣 社員						
U Aゼンセン全体	94.8%	94.3%	94.0%	96.0%	84.6%	90.5%	90.7%	97.0%	83.5%
50人以上	96.3%	95.9%	95.8%	97.1%	89.3%	93.9%	92.4%	97.3%	86.2%
50人未満	84.6%	82.3%	76.8%	88.7%	50.0%	64.5%	77.9%	94.7%	65.6%
製造産業部門	98.0%	97.5%	98.5%	98.7%	89.0%	95.2%	96.2%	98.0%	91.7%
流通部門	90.1%	90.0%	89.2%	93.6%	83.1%	87.2%	84.6%	97.2%	76.5%
総合サービス部門	94.9%	94.2%	91.9%	94.6%	80.1%	86.3%	87.9%	95.4%	79.1%

労働衛生活動 ～小規模事業場での日常的な活動の実施が課題～

人数規模の少ない事業所ほど活動の実施率が低く、特に、メンタルヘルスの相談窓口の設置を含めたハラスメント体制の構築整備が課題です。50人未満の事業所におけるストレスチェックの実施率は約50%となっており、部門間の格差が顕著です。2028年には、義務化される見込みとなっていることを踏まえた取り組みが求められます。また、国内では精神障害による労働災害の申請件数および支給決定が年々増加しており、労働者のメンタル問題に労使で積極的に取り組みを進めましょう。

規模／部門	定期健康診断	ストレスチェック		メンタルヘルス 相談窓口	ハラスメント 相談体制の整備	労働時間の 把握
		50人以上 事業所	50人以上 事業所			
U Aゼンセン全体	100.0%	95.8%	51.6%	91.1%	96.8%	98.5%
50人以上	100.0%	95.8%		95.8%	98.8%	98.8%
50人未満	100.0%	51.6%		59.4%	83.5%	96.9%
製造産業部門	100.0%	97.0%	48.6%	89.5%	95.7%	98.0%
流通部門	100.0%	95.7%	75.0%	95.5%	99.6%	99.1%
総合サービス部門	100.0%	94.2%	45.0%	88.8%	95.5%	98.7%

注) 表中の数字は該当設問項目に回答があった組合のうち、「全事業所あり」「概ねあり」と回答した組合の割合。また、複数規模の事業所がある場合は最大規模の事業所の結果を反映した。

なお、その他の集計結果の詳細は、2026年4月発行予定の「U Aゼンセン労災年報」をご参照ください！